

伊豆市監査委員 告示第4号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、監査の結果を次のとおり公表する。

令和3年3月25日

伊豆市監査委員 渡邊 光由
伊豆市監査委員 青木 靖



記

1. 監査の期日 令和3年2月15日(月)

2. 監査の対象

建設部 用地管理課、都市計画課、上下水道課、建設課

3. 監査の方法

提出された監査資料等に基づき、各担当課の説明を受けた後、事情聴取並びに関係書類の審査を実施した。

4. 監査の結果

監査を実施した範囲においては、事務事業及び予算執行状況は概ね適正に処理されているものと認められた。

5. 監査の概要、意見

対象部課の監査結果の概要及び意見は、次のとおりである。

【建設部】

(1) 用地管理課

① 市営住宅維持補修工事では、立野団地外壁改修工事を41,778千円で中豆建設㈱と締結、宿第2団地防水塗装工事を13,420千円でむつわ建設㈱と締結、愛宕団地G棟・H棟床修繕工事を1,023千円で大松サービスと締結し改修を行っている。これは市営住宅の長寿命化計画に基づくものである。令和元年度の使用料現年度分収納率は97.9パーセント、過年度分では18.2パーセントで、滞納額9,814千円が未払い状態である。低家賃住宅への斡旋等、様々な対応しながら徴収業務を行っているとのことであり、引き続き居住滞納者に対しては、生活状況を見据えながらの徴収業務を行っていただき、状況に応じた柔軟な対応により強制退居とならないように判断願いたい。

② 市道管理の状況では、道路台帳補正業務として株式会社東日に情報更新業務(2,970千円)を10路線分委託している。また、伊豆縦貫自動車道関連として、市道新畑2号線道路用地分筆登記業務(957千円)、日向トンネル管理用道路用地分筆登記業務(462千円)

を委託している。

- ③ 本年度の道路占用料の現年度分収納率は、2月1日現在で98.5パーセント、過年度分については、1.6パーセントで収納率は昨年よりも上がっている。河川占用料の現年度分収納率は、89.2パーセント、過年度分は19.0パーセントである。昨年の過年度分は、収納がなかったが、本年度は収納実績があり、収納率改善が計られた。しかし、収納未済額は依然として増加傾向にあり、あらゆる徴収の手法を駆使して、収納未済額の減少に努めていただきたい。
- ④ 伊豆縦貫自動車道等関連事業では、平成30年度に供用開始された天城北道路の残工事について、国土交通省と協力し事業を推進していく。今年度は、測量設計委託料（1,419千円）、市道新畑2号線道路整備に伴う土地購入費（14,082千円）、関係4団体への負担金、交付金（501千円）を執行している。
- ⑤ 地籍調査は、計画地区の全行程を3年サイクルで行っている。本年度は、補助金分として瓜生野（Ⅰ）の修善寺地区0.15km²を委託料462千円でRBコンサルタント(株)が、冷川（Ⅱ）の中伊豆地区0.24km²を委託料528千円で静岡県土地改良事業団体連合会が、八木沢（Ⅱ～Ⅳ）の土肥地区0.59km²を委託料10,780千円で株式会社東日、天城峠（Ⅰ～Ⅴ）の天城地区0.94km²を委託料27,830千円で4社が調査事務を請け負っている。本年度の調査面積は0.13km²、全体の進捗面積は26.03km²で、平坦地における進捗面積の比率は74.03%、全体面積に対しては9.02%となっているとの説明を受けた。津波浸水地域は、優先的に行うこととなっているため、本年は八木沢地区を進めている。平野部については粛々と進めていただき、また縦貫道関連による山間部の調査も始まる。相続関係で大変苦労しているようですが、引き続き調査を進めていただきたい。

(2) 都市計画課

- ① 都市計画推進事業では、地域別ワークショップによる4地区住民との意見交換や専門家による委員会を実施し、都市計画マスタープラン案を策定（業務委託令和2年度7,500千円）している。また都市計画審議会に提出する図面等の資料を作成（業務委託7,491千円）し、法定手続きを進めている。また伊豆縦貫自動車道関連の湯ヶ島周辺まちづくり構想について、湯ヶ島地区のワークショップを実施し、土地利用の案を作成する（縦貫道自動車道湯ヶ島周辺まちづくり構想検討業務委託 1,936千円）。様々な課題を克服したより良いまちづくりの実現に向けての具体的な実現方策を都市計画マスタープランは示しており、スケジュール通りに遂行されれば、形に現われてくるので大いに期待しています。
- ② 景観まちづくりの実施状況では、「伊豆の玄関口である修善寺駅周辺の景観を守り育てる」、「軸となる河川と道路の魅力を高める」、「地域資源を活用してにぎわいを創出する」の3つの方針を軸にして、修善寺駅周辺地区の景観まちづくり計画の素案を策定し、質の高い都市空間を備えた国内外の来訪者にやさしい都市生活交流拠点として、地域内外の人に愛される地域を目指すとのこと。伊豆の玄関口として温泉地や歴史的文化資源等の魅力を発信し、駅広場を活用したイベント等で、観光客や地元住民が思い出に残り楽しめる、

賑わいの拠点となるように期待します。

③ 屋外広告物事業では、静岡県屋外広告物条例により屋外広告物の特別規制区域、普通規制区域、広告景観保全区域がある。国道 136 号バイパス修善寺道路や伊豆縦貫自動車道天城北道路などは特別規制区域の基準に更に上乘せされた厳しい基準の広告景観保全区域となっている。現在、伊豆半島域で違反広告物の是正に取り組んでおり伊豆市内で違反している野立て看板数 423 件(平成 29 年 12 月調査時点)は、本年 12 月末で 47 件(進捗率 89%)へと減少している。東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会までに違反広告物をなくすことを目標に掲げ、あと一息のところまで来ている。残りの 47 件については、撤去が難しいものがほとんどで、所有者が判らないもの、柱だけ残ってしまうもの等である。黄色い警告用シールを貼ったりして違法である旨を知らせているが、所有者が不明なためこれも難しいとのこと。全国、全世界から来るお客様に景観の素晴らしい伊豆市を満喫してもらうためにも、少しでも多くの撤去をお願いしたい。

④ 修善寺駅周辺の整備状況では、修善寺駅構内、駅西口広場、南・北広場、駅北駐車場の維持管理を市が行っている。駅トイレ清掃(毎日午前 1 回・午後 2 回)、駅構内清掃(毎日午前 1 回・午後 1 回)を(有)伊豆クリーンサービスに清掃業務として委託(2,617 千円)している。

駅北広場駐車場は管理システムをユニヴァーサル商事㈱に委託(2,508 千円)し、駐車料金の清算・出金、利用の管理等を行っている。本年度は、新型コロナの影響で利用者が減となっている。利用状況は次のとおりである。

(単位：台数、円)

年度	上段駐車場			下段駐車場			北口広場(上下段)駐車場			計 利用 料金
	無料 台数	有料 台数	計	無料 台数	有料 台数	計	無料 台数	有料 台数	計	
H30	19,703	4,876	24,579	4,717	3,452	8,169	24,420	8,328	32,748	3,610,600
R 元	19,955	4,946	24,901	4,386	3,322	7,708	24,341	8,268	32,609	3,447,300
R 2	12,948	2,231	15,179	2,342	2,610	4,952	15,290	4,841	20,131	1,489,100

※ R 2 年度は、12 月分までの累計

牧之郷駅周辺の整備状況は、牧之郷地区計画に基づいて、駅前交通広場、緑地広場、生活道路を整備する。伊豆箱根鉄道で管理する駅舎については、改修は考えていないとのこと。伊豆市の入り口となる牧之郷駅の周辺整備であることから、計画地を有効に使い、住民と共によりうまく進めていってほしい。

(3) 上下水道課

① 水道管の布設工事では、簡易水道事業は 1)本柿木配水管布設替工事(契約金額 22,660 千円)、2)小下田配水管布設替工事(契約金額 13,310 千円)の 2 箇所を施工し、上水道事業では 1)月ヶ瀬配水管布設替工事(契約金額 5,026 千円)、2)上和田地区配水管布設替工事(契約金額 9,614 千円)、3)年川地区配水管布設替工事(1 工区)(契約金額 6,160 千円)、4)年

川地区配水管布設替工事（2工区）（契約金額 9,526 千円）、5)地蔵堂地区配水管布設替工事（契約金額 14,080 千円）、6)御幸橋新設に伴う水道管布設替工事（契約金額 9,086 千円）、7)貴僧坊送水管布設替工事（契約金額 7,852 千円）、8) 貴僧坊送水管布設替工事（No.2）（契約金額 6,830 千円）、施設の改修工事では、1) 熊坂中継ポンプ場他送配水設備改修工事（契約金額 11,990 千円）、2) 雲金浄水場他滅菌・水質監視設備改修工事（契約金額 27,720 千円）の施工を確認した。水道水の供給は、市民生活の上で必要不可欠なものである。計画的な水道管布設等工事と施設の改修を実施し、漏水による断水や有収率の低下を招かぬよう安定した供給に努めていただくことを希望します。

- ② 下水道事業の管渠布設工事では、繰越明許による 1)令和元年度大平地区第1工区（令和2年分 契約金額 94,453 千円）、2)令和元年度大平地区第3工区（契約金額 19,018 千円）、3)令和2年度大平地区第3工区（契約金額 12,069 千円）と 1) 大平地区第1工区（契約金額 50,600 千円）、1) 大平地区第2工区（契約金額 38,720 千円）の内容を確認した。
- ③ 上下水道料金徴収業務は、㈱ヴェオリア・ジェネッツに徴収業務を含めた受付業務等を 47,078 千円で委託している。現年度の収納率は次のとおりである。

収納率	上水道	簡易水道	温泉	下水道	農業集落排水
H30 年度	97.86%	98.79%	88.18%	91.95%	88.08%
R 元年度	97.47%	98.95%	87.59%	91.50%	88.98%
R 2 年度	96.29%	72.31%	82.16%	86.53%	83.84%

※ R 2 年度については、11 月までのデータ。

㈱ヴェオリア・ジェネッツとの契約は、令和7年3月31日までであるが、広域化による推進計画の策定状況によっては、変更となる可能性もある。広域連携は、伊豆市は伊東市と伊豆の国市の3市予定だが、現在の徴収業務の委託先は、伊豆市と伊豆の国市はジェネッツ、伊東市はフィーチャーインと違いがあるとのこと。

水道修繕調査等業務委託では、伊豆市上下水道協同組合に市内水道の漏水事故等の受付・相談窓口、現場確認及び漏水調査、漏水修繕業務を 22,033 千円で委託し、上水スタッフ業務量の負担軽減となっている。また、料金の値上げは避けてとおれない事象であり、経営戦略の中で審議していくとのこと。

料金の徴収は、過年度分の滞りが大きく収納率も低い。この低い収納率が長く続くとそれが当り前の状況となってくる。収納できないものと可能なものに分け、収納できないものは整理し、収納可能なものは対応を強化し、過年度の収納率が上がるよう対策を講じていただきたい。

(4) 建設課

- ① 本年度の県単独治山(補助)事業は柳瀬入ノ洞治山工事(契約金額 12,320 千円)と、大平柿木田子野山工事(契約金額 5,368 千円)を実施し、3月と1月に完了予定である。昨年要望していたが、補助金が付かず断念した2か所であった。次年度も引き続き危険個所の工事の着手により、住民の安心安全な生活が守られるよう希望します。

- ② 市道整備事業では、防災・安全交付金事業（補助率 55%）として市道越路嵐山線（御幸橋）関連の 5 工事（元年度分含む）の修繕内容の説明を受けた。橋梁の点検は、5 年で市内 600 橋を行う。今後も長寿命化計画の中で毎年の予算枠規模で改修を継続していくとのこと。市道さくら大通線、市道大平柿木本柿木線及び市道金山線の改良工事の内容の説明を受け確認した。また、令和元年度災害復旧工事農業関係 19 件、道路関係 16 件、河川関係 1 件の説明も受けた。
- ③ 本年度の急傾斜地崩壊対策事業については、土肥の駿豆学園裏の大久保 N o . 3 急傾斜地崩壊対策工事 (20,790 千円) の 1 箇所を実施している。国の補助決定により着手しており、年間 2,000 千円程度の補助金額であるため、工事の総延長 132m に対し 1 年に 10m 程度しか進まない。現在、市内で県営急傾斜地崩壊対策事業が瓜生野横瀬間、大下、横瀬、小立野、牧之郷青羽根、市山、大平柿木、月ヶ瀬、下船原で実施されている。急傾斜地の工事規模により県営工事か市工事かが判断され、県営工事の場合は、5~10%の負担金を負担して県にお願いしているとのこと。

